

< 白金標準先物、中国要因で 3650 円への調整場面・・・ >



(出所：オアシス)

国慶節明けから恒大集団のデフォルト・リスクの中で、中国の香港市場や上海総合などが堅調な動きを見せ、買戻しを強めて週末には先週号で指摘した高値 3869 円を達成している。特に週末には恒大集団は元建て債の利払いを実施すると表明し、中国人民銀行の金融担当者は沈黙を破り、「各金融機関の中国恒大に対するエクスポージャーは大きくない」と述べ、「中国恒大集団の債務問題が金融システムに及ぼす波及効果は制御可能だ」と言及している。ただ中国地産集団は、15 日の 2 億 2600 億ドルのドル建て社債の償還を履行する事が出来なかったと発表している。特に中国政府の優先順位は、国内投資家や不動産購入者の救済が優先する政策であり、海外投資家が保有するドル建て債の救済は行わない。そのため今後ドル建て債の償還や利払いでデフォルト・リスクが高まりを見せる可能性が一番高くなるため、目先逃避の動きに押されて 3650 円近くまで下値を模索する値動きに注意したい。

(2021 年 10 月 17 日記載)

< テクニカル >

白金標準先物の週足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** と **シグナル** の乖離が拡大し、RCI では **短期** と **長期** が重なるクロスが発生が予想される。また **200 日移動平均線** に日足が重なるなど、目先戻りの達成感に押される可能性が高いと思える。

< データー >

NYMEX 指定倉庫在庫 (トロイオンス) : 534069 (前週比-6124)

世界プラチナ ETF 残高 (トン) : 75.59 (前週比+4.05)